

Press Release

【2026 年 7 月 22 日】
送付枚数 本票含め 2 枚



報道機関 各位

山口大学細胞デザイン医科学研究所シンポジウム 「細胞デザイン×レギュラトリーサイエンスの融合：NAMs が拓く次世代医療技術の品質と安全」の開催について

山口大学は、本学の強みの1つである革新的細胞デザイン技術を核として、人や動物の次世代の革新的医療技術シーズを次々と創出する国際研究開発拠点となるべく、2023年10月に「細胞デザイン医科学研究所」を設立しました。

この度、細胞デザイン医科学研究所は、世界的な潮流である「NAMs (New Approach Methodologies : 医薬品開発における動物実験に代わる新たな安全性評価方法)」を核とした、最先端のレギュラトリーサイエンス研究に関するシンポジウムを開催します。

ゲノム編集技術や生体模倣システム(MPS)を駆使し、革新的な創薬シーズをどのように社会へ実装していくのか。次世代医療の安全性を主導する産官学の第一人者たちをお招きし、次世代ルール構築と未来医療の開拓に向けた最前線に迫ります。

当日は、研究所の知見を集めた研究シーズパネル(約40件)の展示も併せて実施します。

報道関係の皆様におかれましては、ぜひ広くご周知いただくとともに、当日の取材についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時：令和8年7月25日(土) 13:00~18:30(受付開始 12:00)
2. 場 所：山口大学小串キャンパスA棟1階オーディトリウム(宇部市南小串1-1-1)
及びオンライン(Zoom ウェビナーによるハイブリッド方式で行います)
3. 参 加 費：無料
4. プログラム：別紙参照
5. 主 催：山口大学、山口大学細胞デザイン医科学研究所
6. 後 援：山口県、宇部市、山陽小野田市、山陽小野田市立山口東京理科大学
日本組織培養学会、日本動物実験代替法学会
7. 対 象 者：どなたでもご参加いただけます(学生・企業・アカデミア・一般市民など)

●お問い合わせ先
国立大学法人山口大学学術研究部
ライフサイエンス支援課研究所係
担当：中野 亮
〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1
TEL : 0836-85-3065
FAX : 0836-22-2116
E-mail : sh088@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学総務部
総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL : 083-933-5007
FAX : 083-933-5013
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

細胞デザインと
レギュラトリーサイエンスの融合

NAMS が拓く次世代医療技術の品質と安全

NAMS (New Approach Methodologies) :
(医薬品開発における動物実験に代わる) 新たな安全性評価方法

細胞デザインが生み出す次世代医療は、評価の「常識」をどう変えるのか?

世界潮流「NAMS」を核に、産官学の第一人者たちが次世代ルールの構築に挑みます。ゲノム編集技術や生体模倣システム(MPS)を駆使し、革新的な創薬シーズを社会へ実装する。次世代医療の安全性を主導する先生方と一緒に、当研究所の挑戦の最前線に迫ります。

2026 7.25 土 13:00~18:30
受付開始 ~~12:30~~ 12:00

オンライン配信あり (Zoomウェビナー)

会場

山口大学小串キャンパス
A棟1階オーデトリウム
(山口県宇部市南小串1-1-1)

定員

現地参加: 先着100名 200名
オンライン参加: 先着300名 500名

対象

どなたでも
(学生・企業・アカデミア・一般市民など)

参加費 無料

申込方法

二次元コードからお申込みいただけます。

●申込締切: 2026年7月18日(土)

※定員に達し次第、申込締切前でも受付を終了します。7月23日(木)まで延長
オンラインでの参加希望の方は、前日までに視聴可能URLをメールにてご案内します。

PROGRAM

13:00 | 開会挨拶 谷澤幸生 学長、玉田耕治 所長

13:10 | シンポジウムの趣旨と研究所の取り組み紹介
宮本達雄 先進ゲノム編集治療研究部門長

13:20 | 演題 1

NAMSをめぐる国際動向

平林容子 国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター長

13:50 | 演題 2

医薬品領域におけるNAMS/Weight of Evidence
(WoE) アプローチの利用促進に向けて西村次平 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
スペシャリスト (毒性担当)

14:20 | 演題 3

NAMSに対する製薬会社の対応と
アカデミアへの期待鈴木睦 日本製薬工業協会医薬品評価委員会
領域担当幹事 (非臨床)

15:00 | 演題 4

MPS実用化に向けた産官学連携の動向

山崎大樹 国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター薬理部第二室長

15:30 | 演題 5

新規モダリティ時代におけるレギュラトリー
サイエンス研究 - アカデミアの役割と将来展望嶋本顕 山陽小野田市立山口東京理科大学
薬学研究科 教授

16:00 | 演題 6

AMEDが推進するレギュラトリーサイエンス事業
- NAMSを含む評価基盤の高度化に向けて

津田雅貴 AMED創薬事業部レギュラトリーサイエンス課長



16:40 | 基調講演

アカデミアから見た生体模倣システム (MPS)
開発の現状とこれから横川隆司 京都大学大学院工学研究科
マイクロエンジニアリング専攻 教授

17:40 | パネルディスカッション

細胞デザインとRSとの融合による次世代医療の開拓に向けて

18:25 | 閉会挨拶 佐藤一理事・副学長 (学術研究・産学連携担当)

【主催】

山口大学、山口大学細胞デザイン医科学研究所

【後援】

山口県、宇部市、山陽小野田市、山口東京理科大学、
日本組織培養学会、日本動物実験代替法学会

【プログラム委員会】

山口大学細胞デザイン医科学研究所

玉田 耕治 宮本 達雄 弘澤 萌

山陽小野田市立山口東京理科大学

嶋本 顕 小島 肇